

WinActor全社展開(大企業/中小企業)支援 Power Automate機能比較のご紹介

2021/4/28

株式会社ニーズウェル

営業統括部 ソリューション営業部

岩本 秀樹



NeedsWell
Try & Innovation

1. 当社の紹介

2. WinActor 全社展開（大企業/中小企業）

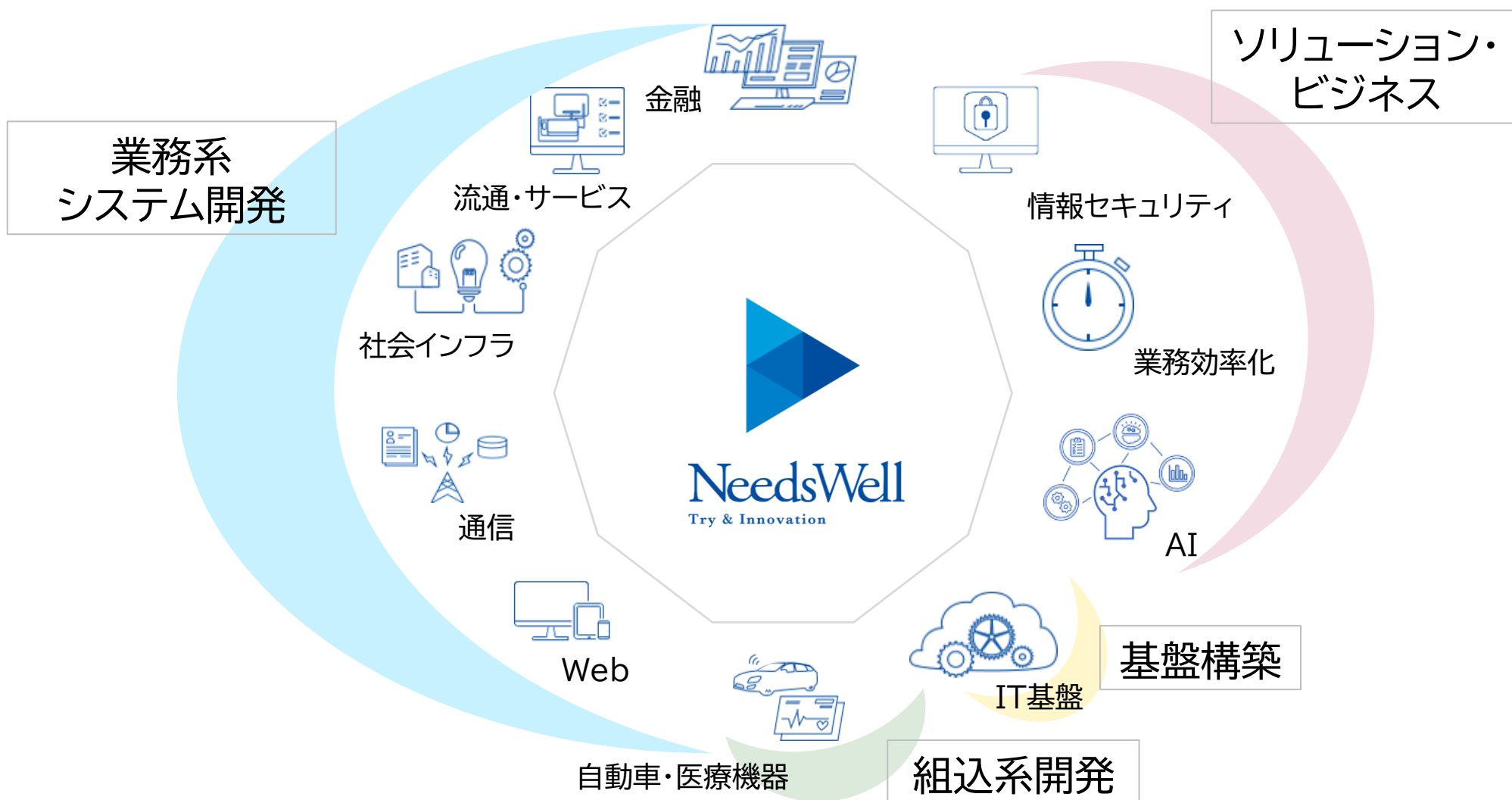
3. WinActor/PowerAutomate 機能比較について

4. まとめ

※ 基準日:2021年3月

商号	株式会社ニーズウェル Needs Well Inc.																										
本社	東京都千代田区紀尾井町4番1号 ニューオータニ ガーデンコート13階																										
事業所	■ 新宿オフィス:東京都新宿区富久町13-15 サウスタワー5階 ■ 長崎オフィス:長崎県長崎市興善町2-21 明治安田生命長崎興善町ビル5階																										
連絡先	TEL:03-6265-6763 (代) FAX:03-6265-6764																										
代表者	代表取締役社長 船津 浩三																										
設立年月	1986年10月	上場市場	東証一部(証券コード:3992)																								
資本金 ※	4億15百万円	売上高 ※	53億64百万円																								
従業員数 ※	543名																										
資格	労働者派遣事業 プライバシーマーク使用許諾認定 ISO27001(ISMS)認証 ISO9001(QMS)認証																										
役員	<table border="0"> <tr> <td>代表取締役社長</td><td>船津 浩三</td><td>取締役(社外)</td><td>柳川 洋輝</td></tr> <tr> <td>専務取締役</td><td>後藤 伸応</td><td>取締役(社外)</td><td>坂上 秀昭</td></tr> <tr> <td>常務取締役</td><td>塚田 剛</td><td>常勤監査役</td><td>加藤 和彦</td></tr> <tr> <td>取締役</td><td>木村ひろみ</td><td>監査役(社外)</td><td>丹波 厚太郎</td></tr> <tr> <td>取締役</td><td>秋山 恵穂</td><td>監査役(社外)</td><td>安岡 護</td></tr> <tr> <td>取締役</td><td>篠原 和広</td><td></td><td></td></tr> </table>			代表取締役社長	船津 浩三	取締役(社外)	柳川 洋輝	専務取締役	後藤 伸応	取締役(社外)	坂上 秀昭	常務取締役	塚田 剛	常勤監査役	加藤 和彦	取締役	木村ひろみ	監査役(社外)	丹波 厚太郎	取締役	秋山 恵穂	監査役(社外)	安岡 護	取締役	篠原 和広		
代表取締役社長	船津 浩三	取締役(社外)	柳川 洋輝																								
専務取締役	後藤 伸応	取締役(社外)	坂上 秀昭																								
常務取締役	塚田 剛	常勤監査役	加藤 和彦																								
取締役	木村ひろみ	監査役(社外)	丹波 厚太郎																								
取締役	秋山 恵穂	監査役(社外)	安岡 護																								
取締役	篠原 和広																										

ニーズウェルは金融向けの業務系システム開発を中心とした4つのサービスで、ITのトータルサービスを提供しています。



1. 当社の紹介

2. WinActor 全社展開（大企業/中小企業）

3. WinActor/PowerAutomate 機能比較について

4. まとめ

■ RPA運用ガイドライン・開発ルール作成支援

- ・ 当社ナレッジをもとに作成したテンプレートをベースに、運用・開発ルールを短期、低コストで作成

■ 社内啓蒙活動支援(無償)

- ・ RPA・AI-OCRに関するセミナー・ハンズオンセミナーなどのイベントの企画・実施を定期的を実施
(当社からライセンスをご購入した企業様のみ無償)

■ WinActor教育(研修)支援(一部無償)

- ・ 新規担当者向けの初級、中級研修(WinActor ver6、7対応)を実施
→当社からライセンスをご購入した企業様は、3か月ごとに一回無償で実施
- ・ 貴社向けのオリジナルの教材を作成し、研修実施を実施します
- ・ 新規担当者向けに独立してシナリオ作成作成できることを目的に、対面でシナリオ作成を支援

■ ナレッジ共有サイト構築支援

- ・ RPA・AI-OCRに関するニュース、FAQ、ライブラリ、各種資料などを共有するサイトの企画・構築を実施

■ WinDirector構築支援

- ・ 多数の導入実績をもとに運用設計、サーバ調達(クラウド含む)、構築を支援

■WinActor 月額払い契約

- WinActorのライセンス料の月額払いが可能（年間契約前提）

■WinActor あんしんサポート

- 月額3万円～で下記のサポートをを提供（6か月契約前提）
 - ✓ 業務選定支援 対象業務の選定および業務フロー・シナリオ設計の支援
 - ✓ シナリオ添削 貴社で作成したシナリオの課題を洗い出します
 - ✓ 中級研修 助成金対象となる中級研修を行います
 - ✓ オンサイト対応 オンサイトへ訪問しサポートを行います
- ※ 当社からライセンスをご購入した企業様へは、月額費用を値引きいたします

■OCR読み取り精度検証およびレポート作成(無償)

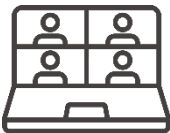
- 対象帳票の読取精度および改善案レポートを作成します（当社からライセンスをご購入した企業様のみ無償）

■IT導入補助金申請サポート

- 当社からライセンスをご購入した企業様へは、助成金申請のサポートを支援



WinActor **ライセンスの半額分**がIT導入補助金として**支給**！

無償サポート	詳細
メールでのお問合せ(※1) 	即日対応 平日 9:00～12:00、13:00～17:00 (但し、内容により回答は翌営業日以降になる場合がございます)
お電話でのお問合せ(※1) 	即日対応 平日 9:00～12:00、13:00～17:00
Web会議でのお問合せ(※1) 	平日 9:00～12:00、13:00～17:00 (実施日時は予め、ご相談下さい)
シナリオ添削 	シナリオ不実行など軽微な内容 (シナリオ内容により費用が発生する場合、別途ご相談となります)
初級操作研修 (WinActor® ver6・7対応) 	オンライン or 当社オフィス 7H (無償対応は年間で回数制限がございます)

1. 当社の紹介
2. WinActor 全社展開（大企業/中小企業）
3. WinActor/PowerAutomate 機能比較について
4. まとめ

Power Automateとは



- ・プロセス(アクション)を自動化するサービス
- ・アクションを組み合わせ様々なフローを作成可能

Power Automate

クラウドフロー(フロー)

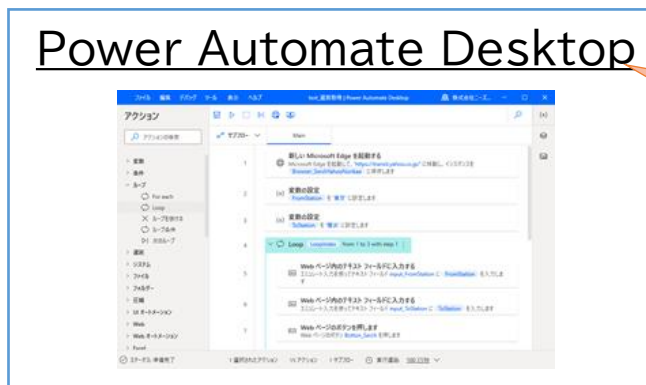
… 主にクラウドサービスのAPIコネクタを利用したアクションをフロー化

※Teams、OneDrive、SharePointなどのMicrosoft製品だけでなく、
BoxやSlack、Twitterといったクラウドサービスなど多数のコネクタの提供あり

デスクトップフロー(UIフロー)

… デスクトップまたはブラウザ上での画面操作などのアクションをフロー化

Power Automate Desktop



デスクトップフローの作成、
自動記録、実行等を行うための
RPA製品
ローコードな開発環境を提供

Power Automate Desktopとは

■2020年10月

→ Power Automate の新たなRPA 機能として発表された機能

※有償プランの一つ「アテンド型 RPA のユーザーごとのプラン」でのみ使用可能

■2021年3月

→ **Windows 10ユーザー向け**にデスクトップフロー機能の**無料公開**をリリース

ユーザーごとのライセンス		フローごとのライセンス
ユーザーごとのプラン	アテンド型 RPA のユーザーごとのプラン	フローごとのプラン
¥1,630 毎月ユーザーあたり それぞれのユーザーが独自のニーズに基づいて無制限にフローを作成できるようにします。	¥4,350 毎月ユーザーあたり それぞれのユーザーがフローを無制限に作成でき、さらに <u>ロボティックプロセスオートメーション (RPA)</u> と AI で従来のアプリケーションを自動化できます。 - 毎月 5,000 の <u>AI Builder</u> サービス クレジットを含みます。 <u>グローバル管理者または課金管理者のロール</u> で Microsoft 365 管理センターへのアクセス許可が必要です。	最低料金 ¥54,350 毎月フロー 5 件あたり¹ 組織全体の無制限ユーザー向けに、予約済みキャパシティでフローを実装します。 <u>グローバル管理者または課金管理者のロール</u> で Microsoft 365 管理センターへのアクセス許可が必要です。

※2021年3月時点公式サイトより:[価格](#) | [Microsoft Power Automate](#)

有償版・無償版の主な機能差異

- ・有償版…「アテンド型 RPA のユーザーごとのプラン」契約で利用できるPAD
- ・無償版… Windows 10 proユーザー向けに無料公開されたPAD

機能	有償版	無償版
PADが保有するRPA機能	○	○ 2021年3月より
クラウドフローとデスクトップフローの連携	○	×
自動実行(スケジュール実行、トリガー実行)	○	×
フローの共有	○	×
実行ログ、実行状況の参照	○	×
環境作成とセキュリティ管理	○	×
クラウドフローのプレミアムコネクタの利用	○	×

①記録 - 自動記録のしやすさ

WA

チュートリアル

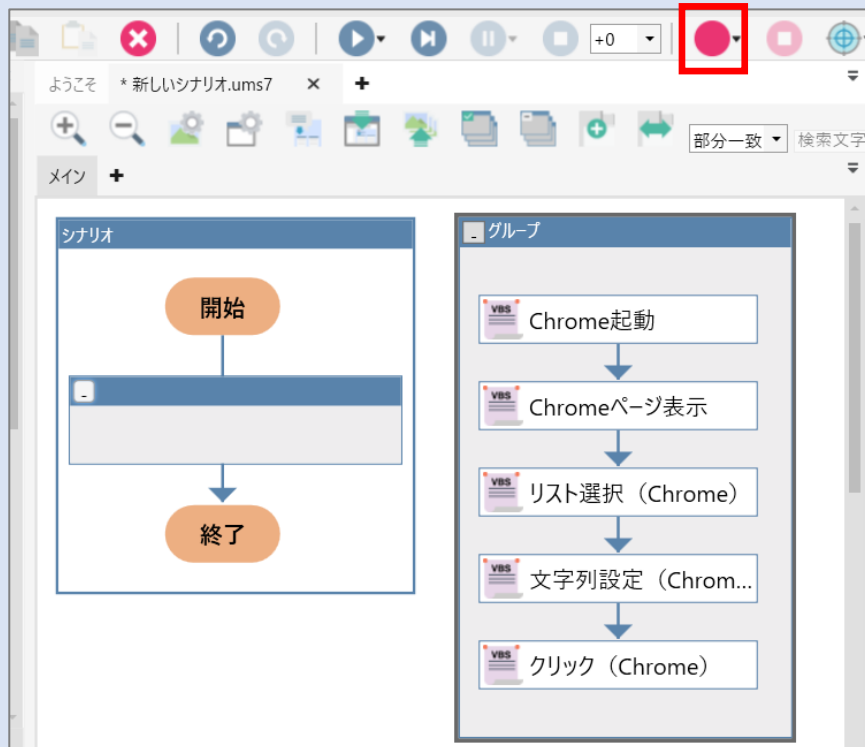
カテゴリ 商品名

登録

メッセージ

①対象画面選択

②記録



PAD

Webレコーダー

①記録画面表示

アクションがまだ追加されて
開始するには、ここにアクションをドラ

使用する Web ブラウザー インスタンスを指定

Power Automate Desktop を Microsoft Edge、Chrome、または Firefox で動作させるには、プラグインをインストールする必要があります。詳細

このレコーディング セッションで使用する...

②モード選択

Microsoft Edge Chrome Firefox Internet Explorer

① Web オートメーション アクションで Chrome を使用する場合は、最初に Power Automate Desktop 拡張機能のインストールが必要です。詳細

Web レコーダー

|| 記録の一時停止 記録のリセット

記録されたアクション

Web ページに移動

移動先
file:///C:/Users/YRL-0064/Desktop/%E7%A0%94%E4%BF%AE%E8%B3%87%E6%9D...

Web ページでドロップダウンメニューを選択

名前によりオプションを選択

Web ページ内のテキストを入力

入力 input 画面上: Res

Web ページのボタンをクリック

UI 要素を押す: input.2

ヘルプ

③対象画面認識
④記録

チュートリアル

カテゴリ 商品名

登録

赤枠と要素の表示あり

終了 キャンセル

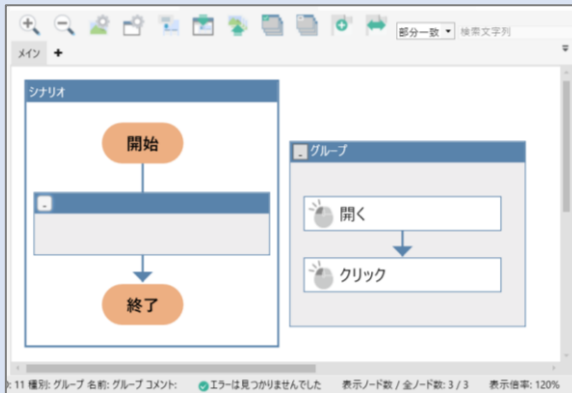
①記録 – 自動記録対象

WA

Webブラウザ
⇒各ブラウザモード



Windowsアプリケーション
⇒UI Automation、イベント



マウス、キーボード操作
⇒エミュレーション

記録操作

マウスカーソルのイベント

原点 左上

X方向 座標 Y方向 座標

☐ ドラッグ中の軌跡も記録する

☒ 操作中の待機時間も記録する

キーボードのイベント

☐ 左右キーを区別して記録する

操作記録リスト

マウス[左ボタン]をDown: 左上 (50,25)

マウス[左ボタン]をUp: 左上 (50,25)

キーボード[Alt]をDown

キーボード[Alt]をUp

待機[1328]ミリ秒

選択部アクション化

選択部削除

アクション化後停止

PAD

Webブラウザ
⇒Webレコーダー



Windowsアプリケーション
⇒デスクトップレコーダー

マウス、キーボード操作
⇒デスクトップレコーダー

デスクトップレコーダー

|| 記録の一時停止 | 記録のリセット

記録されたアクション

左クリック UI 要素: List Item '選択済みなし' 画面上: Window 'Book1 - excel'

ウィンドウ内のボタンを押す

UI 要素を押す: Snipping Tool - 1 個の実行中ウィンドウ 画面上: Quick Launch Bar

ウィンドウの要素をクリック

左ボタンを押す UI 要素: Button '新規作成(N)' 画面上: Window 'Snipping Tool'

ウィンドウの要素をクリック

左ボタンを離す UI 要素: Button '新規作成(N)' 画面上: Window 'Snipping Tool'

+ コメント

ヘルプ

終了

キャンセル

ウィンドウサイズやウィンドウの移動等も記録される
必要な記録を探すのが難しい場合あり

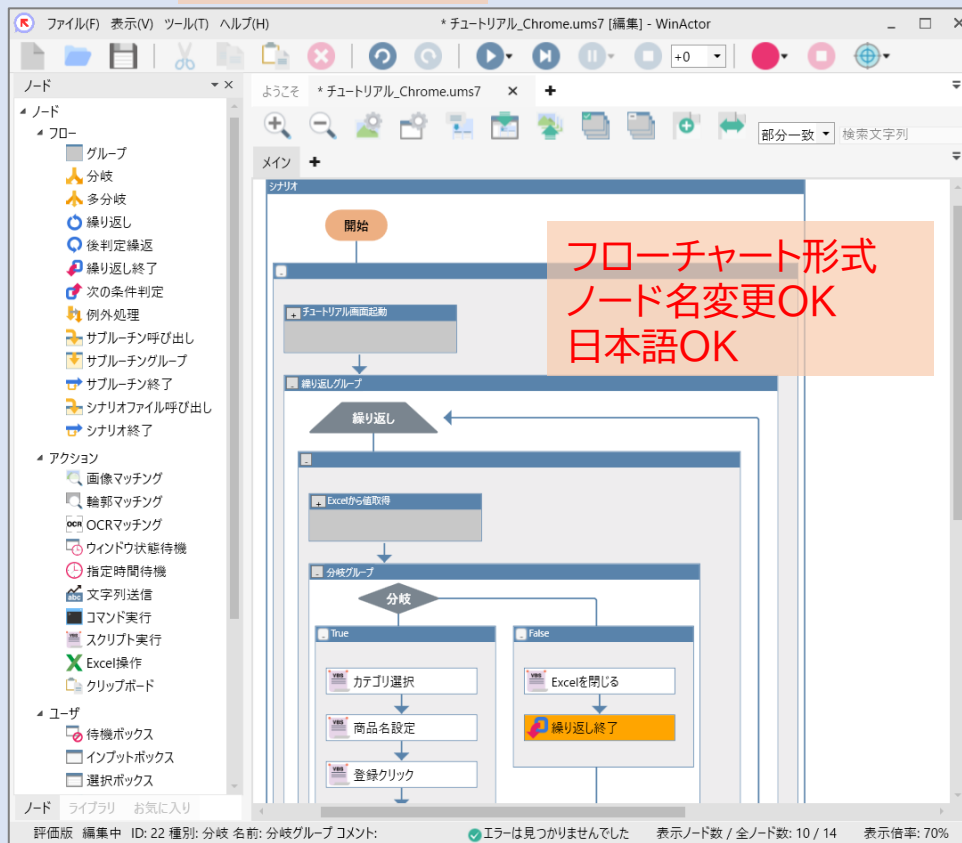
WinActorとのRPA機能比較 – ①記録

比較項目	WA	PAD
自動記録のしやすさ	対象選択→記録ボタン押下	○ 自動記録中に記録詳細表示があり、 わかりやすい
自動記録対象 – Webブラウザ	各ブラウザモード ・IE、Chrome、Firefox、Edge	Webレコーダー ・IE、Chrome、Firefox、Edge
自動記録対象 – Windowsアプリケーション	UI Automation イベント	×
自動記録対象 – マウス、キーボード操作	エミュレーション	・デスクトップ上の全操作を記録するため、 不要な操作の整理が必要

②編集 - 画面の見やすさ

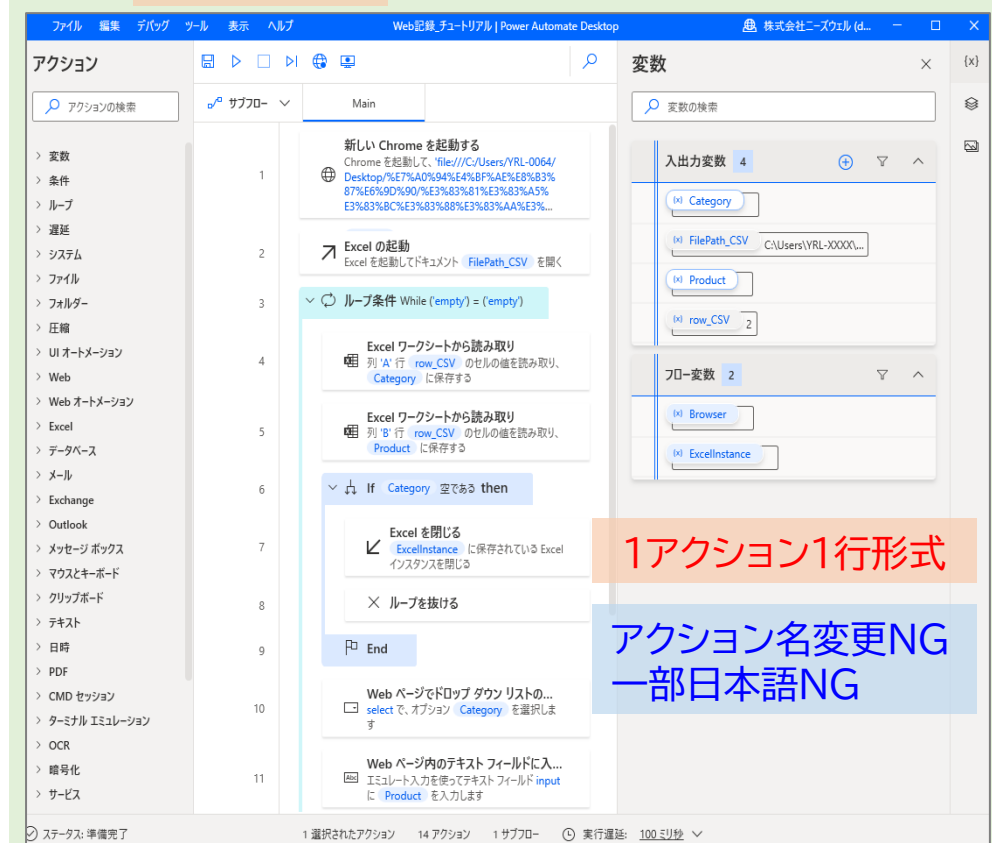
WA

色付きアイコン



PAD

単色アイコン



②編集 - 分岐と繰り返し

WA



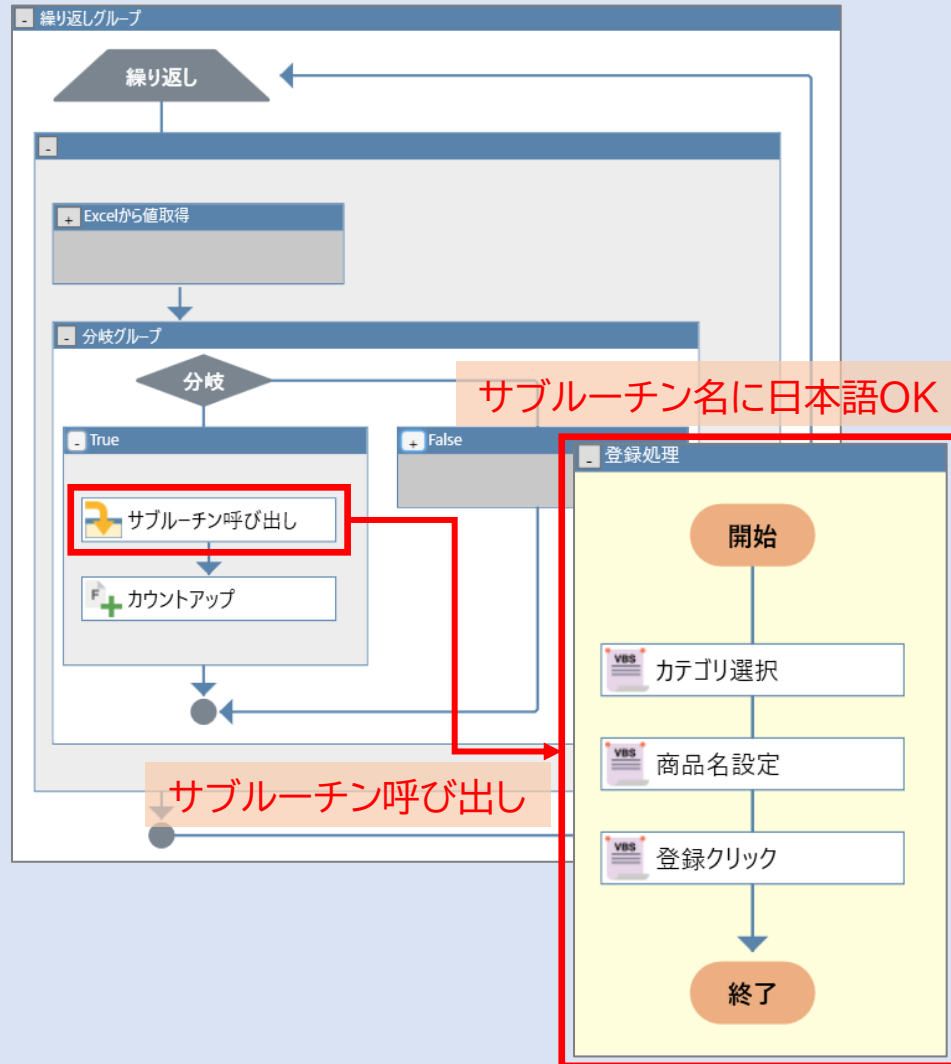
PAD



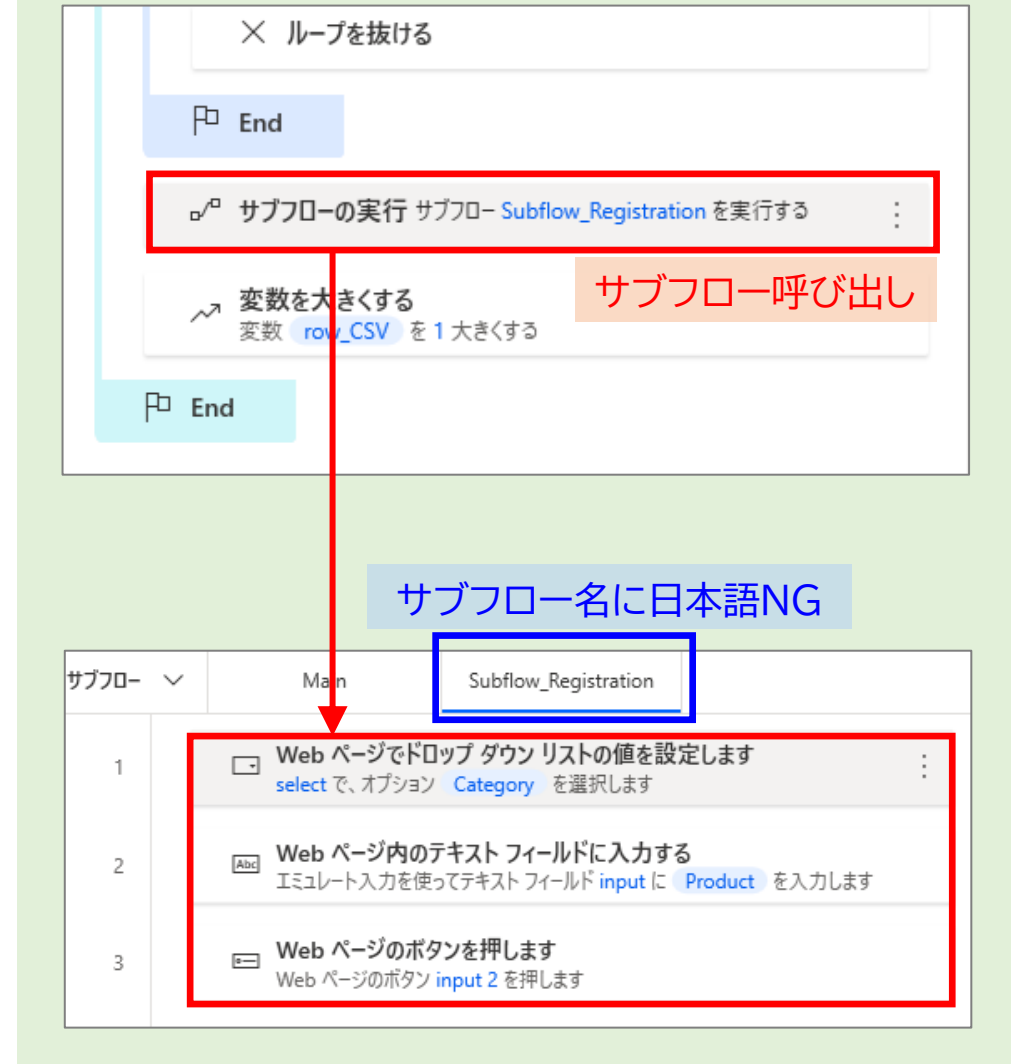
他、条件入力で日本語NG
1行1アクションのため、繰り返しと分岐それぞれの処理が
把握しづらい

②編集 - サブルーチンと呼び出し

WA



PAD



②編集 - 変数

WA

変数一覧から変数の作成OK
変数名に日本語OK
グループ分け、並び替えOK

グループ名	変数名	現在値	初期化しない	初期値
ファイル関連	ファイルパス		☐	
登録処理	カテゴリ		☐	
	商品名		☐	
	行		☐	2

ファイル名 ファイルパス

シート名 シート名

WinActor

変数"ファイルパス"は変数一覧に存在しません。
変数を登録しますか?

はい いいえ

プロパティからも変数作成OK

PAD

入出力変数は変数画面から
作成OK

入出力変数 1

(x) ExcelFile C:\Users\YRL-XXXX\De...

フロー変数 6

(x) ButtonPressed

(x) ButtonPressed2

(x) ExcelData

(x) ExcellInstance

(x) LoopIndex

(x) UserInput

フロー変数は変数画面からの
作成NG

変数名に日本語NG
グループ分け、並び替えNG

変数の設定

(x) 新規や既存の変数に値を設定する、新しい変数を作成する、または以前作成した変数を上書きする [詳細](#)

設定: NewVar {x}

宛先: |

生成された変数

ExcelData {x}

単一セルの値

フロー変数は、
「変数の設定」or 各プロパティの「生成された変数」
からのみの設定

②編集 – 四則演算、比較、論理演算

WA

四則演算

⇒四則演算あり

- ・ 加算 (+)
- ・ 減算 (-)
- ・ 乗算 (×)
- ・ 除算 (÷)

複雑な操作の場合、
ステップが増える可能性あり

計算結果	計算結果
金額	× 個数

プルダウンから選択

比較演算

⇒以下の演算あり

- ・ =, ≠, 等しい, 等しくない
- ・ <, <=
- ・ >, >=
- ・ がtrue, がfalse
- ・ 等しい(曖昧)
- ・ 正規表現

条件式		
カテゴリ	等しくない	値⇒

論理演算

⇒以下の演算あり

- ・ AND
- ・ OR
- ・ NOT

条件
条件
AND
OR
NOT

プルダウンから選択

PAD

四則演算

⇒四則演算あり

- ・ 加算 (+)
- ・ 減算 (-)
- ・ 乗算 (*)
- ・ 除算 (/)

設定: NewVar_3 {x}

宛先: %NewVar_1 * NewVar_2%

「%%」で囲み、演算を記述

比較演算

⇒以下の演算あり

- ・ =, !=
- ・ <, <=
- ・ >, >=
- ・ 次を含む, 含まない
- ・ 空である, 空でない
- ・ 先頭, 先頭が次でない

設定: NewVar_3 {x}

宛先: %NewVar_1 < NewVar_2%

分岐内の演算子

論理演算

⇒以下の演算あり

- ・ AND
- ・ OR

設定: NewVar_3 {x}

宛先: %NewVar_1 = 3 OR NewVar_2 = 6%

記述方を覚える必要あり

②編集 - 文字列操作

WA

文字列連結

文字列1, 文字列2 を連結して連結結果に格納します。

文字列1 文字列1

文字列2 文字列2

連結結果

値⇒
文字列1
文字列2
連結結果
*

連結する値を
プルダウンから選択

変数名	現在値
文字列1	ABC
文字列2	DEF
連結結果	ABCDEF

文字列分割

分割元文字列 実行日付

区切文字列 値⇒ /

分割文字列1 実行年

分割文字列2 実行月

分割文字列3 実行日

変数名	現在値
実行日付	2021/03/23
実行年	2021
実行月	03
実行日	23

分割結果を任意の変数に出力OK

PAD

文字列連結

変数を「%%」で連結
プルダウンから変数選択OK
1アクションで多数の連結OK

結合するリストを指定:

%Text_1%%Text_2%

リスト項目を区切る区切り記号:

なし

入出力変数 2

(x) Text_1 ABC

(x) Text_2 DEF

フロー変数 1

(x) JoinedText ABCDEF

文字列分割

設定方はWAと同じ

分割するテキスト: %CurrentDate%

区切り記号の種類: カスタム

カスタム区切り記号: /

正規表現である: ☐

> 生成された変数 List_CurrentDate

分割結果は
リスト形式で出力

(x) CurrentDate 2021/03/23

List_CurrentDate (の一覧テキスト値)

#	アイテム
0	2021
1	03
2	23

2番目の値を使用する場合、
List[1]と指定する。
0始まりの出力のため、
直感的にわかりづらい。

②編集 - テーブル機能

WA

対象のファイルをインポート

データ一覧			
	☒	カテゴリ	商品名
1	☒	パソコン	タブレットPC
2	☒	パソコン	ノートPC
3	☒	家電	液晶テレビ
4	☒	家電	DVDプレイヤー
5	☒	カメラ	デジタルカメラ
6	☒	携帯電話	スマートフォン
7	☒	携帯電話	PHS

変数一覧			
	グループ名	変数名	現在値
	グループなし		
		カテゴリ	
		商品名	
		登録結果	

データ名と変数名を一致させることで、データが関連付けられる。後続処理でそのまま使用OK。

PAD

取得する値の範囲を指定

全般

Excel インスタンス: %ExcelInstance%

取得: セル範囲の値

先頭列: A {x}

先頭行: 2 {x}

最終列: C {x}

最終行: 8 {x}

> 詳細

> 生成された変数 ExcelData

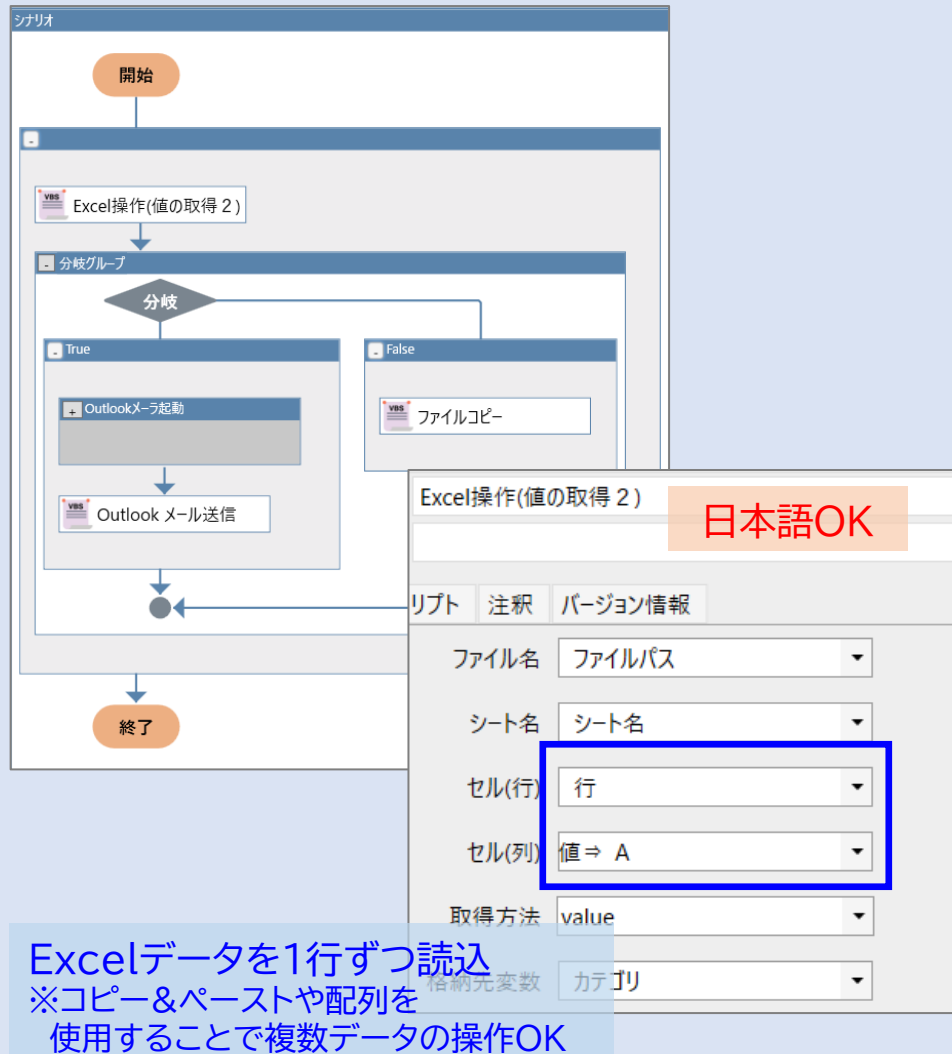
リスト形式で出力
複数テーブルのリスト出力OK

ExcelData (Datatable)			
#	Column1	Column2	Column3
0	カテゴリ	商品名	登録結果
1	パソコン	タブレットPC	
2	パソコン	ノートPC	
3	家電	液晶テレビ	
4	家電	DVDプレイヤー	
5	カメラ	デジタルカメラ	
6	携帯電話	スマートフォン	
7	携帯電話	PHS	

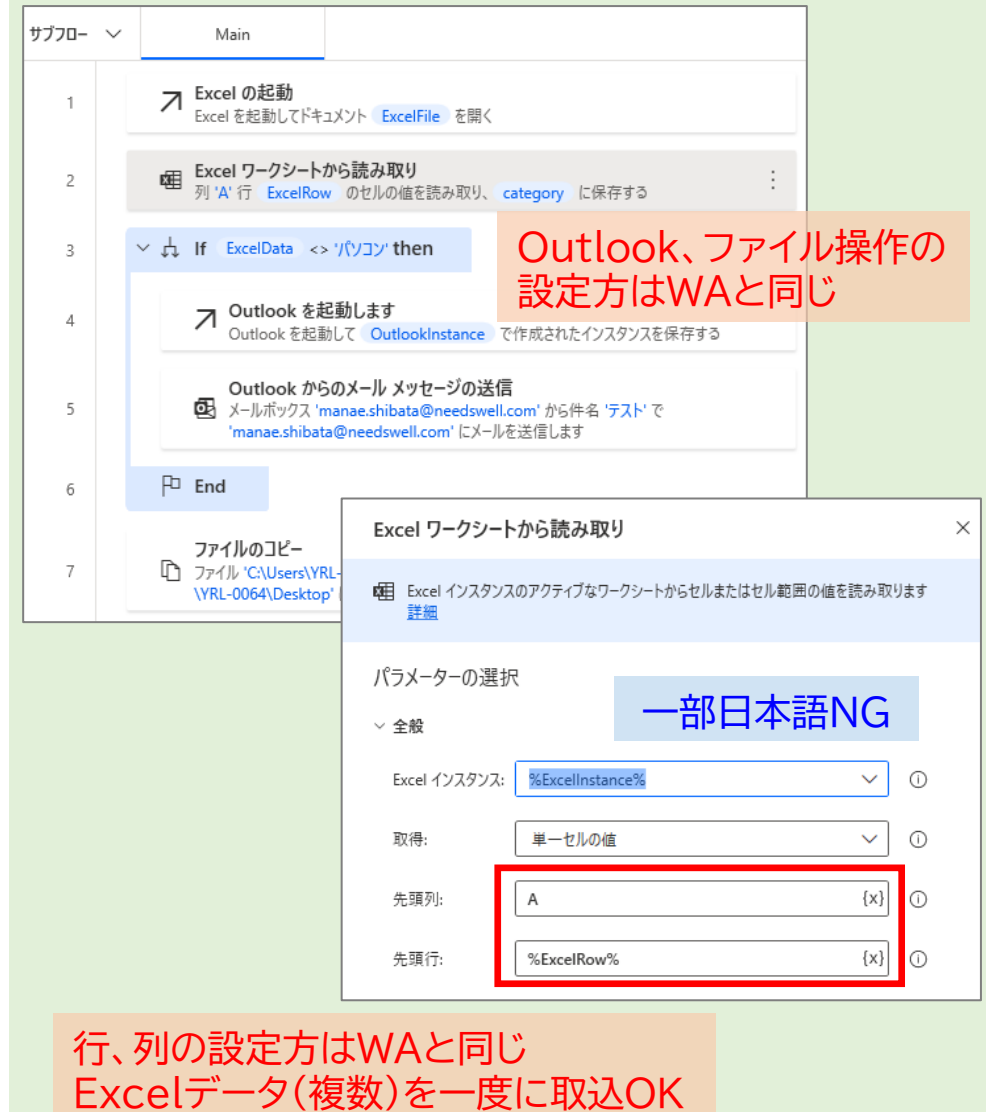
「ノートPC」を使用する場合、ExcelData[2][1]を指定。直感的にわかりづらい。

②編集 – Excel、Outlook、ファイル操作

WA



PAD



②編集 – ブラウザ操作

WA

IEモードで記録した場合、操作対象の選択条件編集OK
画面メンテナンスが発生しても対応できる

基本設定 詳細設定

☒ 対象特定種別 値

☒ tag	値⇒ input
☒ frame index	値⇒ 0
☐ tag index	値⇒ 1
☒ name	値⇒ 登録
☐ type	値⇒ submit
☐ id	値⇒ i_submit
☒ value	値⇒ 登録

Chromeモード等で記録した場合、Xpath指定

ブラウザ名 値⇒ browser_chrome

XPath 値⇒ `//*[@id="i_submit"]`

画面メンテナンスが発生した場合、
Xpathの取り直しが必要

PAD

デスクトップレコーダーで記録した場合、
操作対象の選択条件編集OK
画面メンテナンスが発生しても対応できる

セレクトター	使用済み	属性	演算子	値
1 ☒ Document 'チュートリアル'	☐	Class	と等しい	▼
2 ☒ Button '登録'	☐	Enabled	と等しい	True ▼
	☒	Id	と等しい	i_submit
	☒	Name	と等しい	登録
	☐	Ordinal	と等しい	-1
	☐	Visible	と等しい	True ▼

> document[Class="Chrome_RenderWidgetHostHWND"] > button[Id="i_submit"][Name="登録"]

Webレコーダーで記録した場合、HTMLの要素指定

← ビジュアルビルダーに戻る

`html > body > div:eq(1) > form > div > input`

画面メンテナンスが発生した場合、
HTML要素の取り直しが必要

②編集 - 画像マッチング

WA

マッチング画像 マウス操作位置

カテゴリ	商品名

メッセージ

イメージ画像 チュートリアル-GoogleChrome

即時

ウィンドウ識別名 チュートリアル-GoogleChrome **対象画面の指定OK**

☐ 実行時にマッチング画像を取得 マatching画像ファイル

☐ メモリ節約のために分割マッチングを行う(低速)

検索範囲の指定方法

原点 X方向 Y方向

縮尺率 縮小した場合、精度が低下しますが、速度が向上します。

マッチ率 % タイムアウト ミリ秒

アクション 状態取得結果 操作位置

状態チェックやダブルクリック等の
様々なマウス操作OK

PAD

パラメーターの選択

☒ 画像のキャプチャ ☒ 画像

マウスの移動スタイル:

発生回数:

マウスの移動後にクリックを送信します: ☒

クリックの種類: **画像指定時に画面が暗くなり、
操作しづらい**

ダブルクリック非対応

画像が表示されるまで待機します: ☐

クリックするまでの秒数:

画像に対するマウスの相対位置:

☐	☐	☐	① オフセット X: 0
☐	☒	☐	オフセット Y: 0
☐	☐	☐	許容値: 10

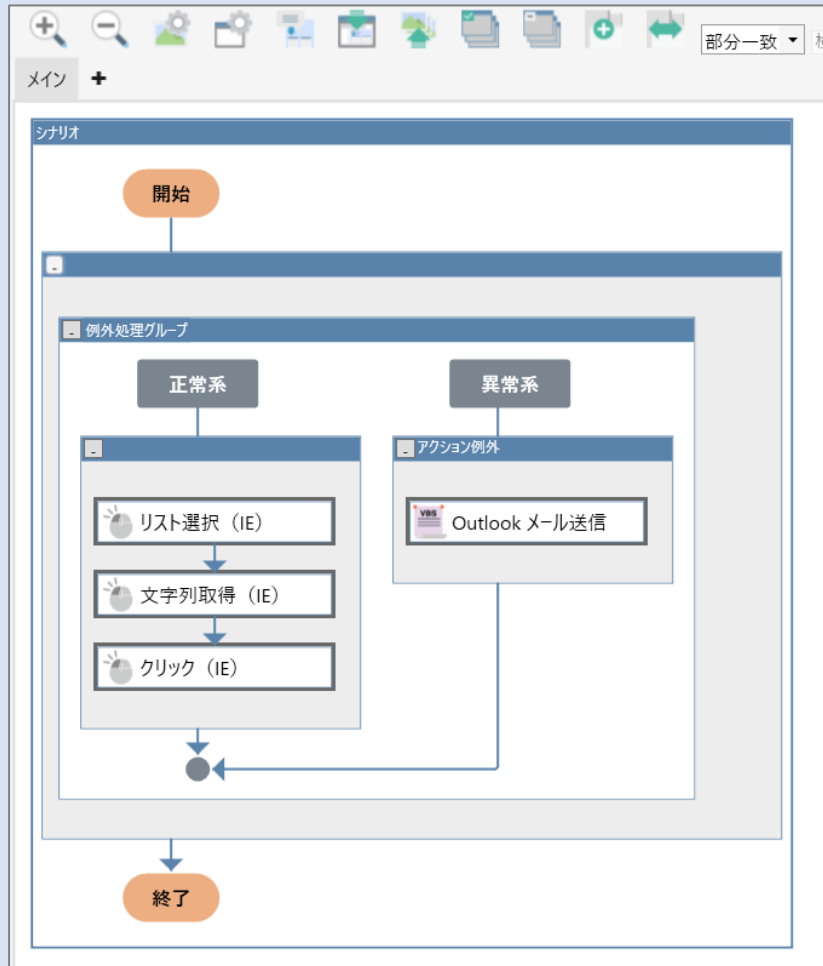
画像の検索先:

検索モード:

> 生成された変数 ☒ X ☒ Y

②編集 - 例外処理

WA



正常系、異常系で実行したい処理を囲むだけでOK
フロー形式なので、異常系処理を把握しやすい

PAD

The screenshot shows the PAD interface with a workflow list on the left and a configuration dialog on the right. The workflow list includes steps for 'Excelの起動' (Start Excel), 'Excel ワークシートから読み取り' (Load from Excel worksheet), and 'メッセージを表示' (Display message). The configuration dialog is titled 'ブロック エラー発生時' (When block error occurs) and shows options for handling errors, including 'サブフローの実行' (Execute sub-flow) and 'スロー エラー' (Slow error).

サブフローの実行
=WAの異常系処理

例外処理で囲まずに、
1アクションごとに異常系処理の設定OK

プロパティを開かなければ、
異常系処理を確認することができない

WinActorとのRPA機能比較 – ②編集

比較項目	WA	PAD
画面の見やすさ	○ フロー名変更OK → 業務を可視化できる 日本語OK	× アクション名変更NG → 業務を可視化できない 一部日本語NG
分岐と繰り返し	○ フローチャート形式 日本語OK 複雑な処理でも視覚的に把握しやすい	× 1アクション1行形式 日本語NG ・複雑な処理になるとフローが把握しづらい
サブルーチンと呼び出し	○ サブルーチン 日本語OK	× 日本語NG
変数	○ 日本語OK グループ分け、並び替えOK	× 日本語NG グループ分け、並び替えNG 一部変数一覧での作成NG
四則演算、比較、論理演算	○ 変数と演算をプルダウン選択で視覚的な操作OK	× 「%%」で囲み変数と演算を記述 複数変数での複雑な演算OK
文字列操作	○ 分割、連結、切り出し等、対象アクションノードをプルダウン選択で視覚的な操作OK	× ・結合は変数名を「%%」で囲む ・分割結果はリスト形式で出力 ・プログラミング経験がないと直感的にわかりづらい

WinActorとのRPA機能比較 – ②編集

比較項目	WA	PAD
テーブル機能	データ一覧で1テーブルのみ取込OK	複数テーブルをリストとして取込OK
Excel操作	× 日本語OK 1行ずつ変数に取込 1度で複数行を取得する場合、 コピー&ペーストや配列の使用が必要	× 一部日本語NG 範囲指定により1度で複数行の取込OK
Outlook操作	日本語OK	× 一部日本語NG
ファイル操作		
ブラウザ操作	・IEモード → 選択条件編集OK ・Chromeモード等 → Xpathの取り直しが必要	・デスクトップレコーダー → 選択条件編集OK ・Webレコーダー → 要素の取り直しが必要
画像マッチング	○ ・マッチング画像を指定しやすい ・操作対象の画面名を指定できる	× ・マッチング画像を指定しづらい ・操作対象の画面を細かく指定できない
例外処理	○ ・正常系、異常系で実行したい処理を 囲むだけでOK	× ・エラー発生時(1アクション) ・ブロックエラー発生時(複数アクション) ・例外処理の内容を確認しづらい

②実行 – 部分実行

WA

①部分実行をしたい処理を選択

②右クリック
③「部分実行」選択

切り取り	Ctrl+X
コピー	Ctrl+C
貼り付け	Ctrl+V
削除	Del
付箋追加	
グループ化	
グループ化解除	
サブルーチン化	
ユーザライブラリに追加	
ノードのタブ間移動	
実行抑止	
ブレイクポイント追加	
部分実行	
サブルーチンジャンプ	Ctrl+J
プロパティ表示	

PAD

③「ここから実行」選択

②開始位置のアクションを右クリック

①一時停止したいアクションの番号をクリック (赤い丸印が表示される)

ここから実行	Alt+F5
元に戻す	Ctrl+Z
やり直す	Ctrl+Y

②実行 – 実行速度

【処理内容】

- ① チュートリアル画面を開く
- ② CSVファイルを開く
- ③ CSVファイルから値を取得
- ④ チュートリアル画面に登録
- ⑤ ③④をデータ数分繰り返す
- ⑥ CSVファイルを閉じる

	A	B
1	カテゴリ	商品名
2	パソコン	タブレットPC
3	パソコン	ノートPC
4	家電	液晶テレビ
5	家電	DVDプレイヤー
6	カメラ	デジタルカメラ
7	携帯電話	スマートフォン
8	携帯電話	PHS

チュートリアル

カテゴリ	商品名
携帯電話 ▼	PHS

登録

メッセージ 商品「PHS」が登録されました。

03/25 16:55 [登録:登録]
03/25 16:55 [商品名:]
03/25 16:55 [登録:登録]
03/25 16:55 [商品名:]
03/25 16:55 [カテゴリ:携帯電話]
03/25 16:55 [登録:登録]
03/25 16:55 [商品名:]
03/25 16:55 [カテゴリ:カメラ]
03/25 16:55 [登録:登録]
03/25 16:55 [商品名:]

WA

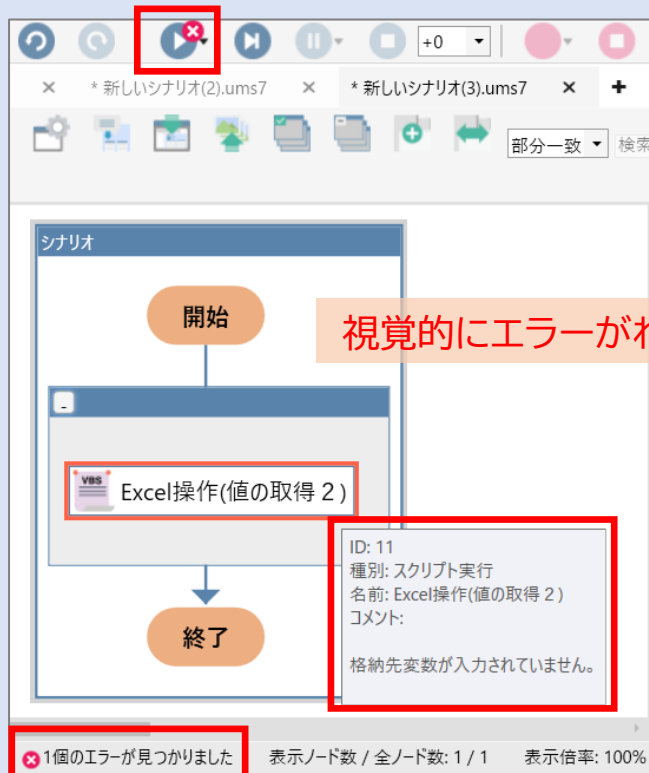
処理時間
14秒

PAD

処理時間
54秒
WAの約4倍かかる

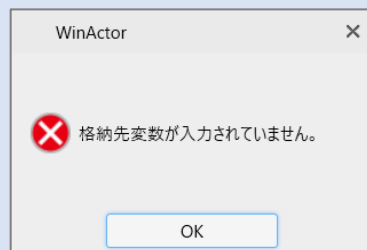
②実行 - エラー出力

WA



視覚的にエラーがわかりやすい

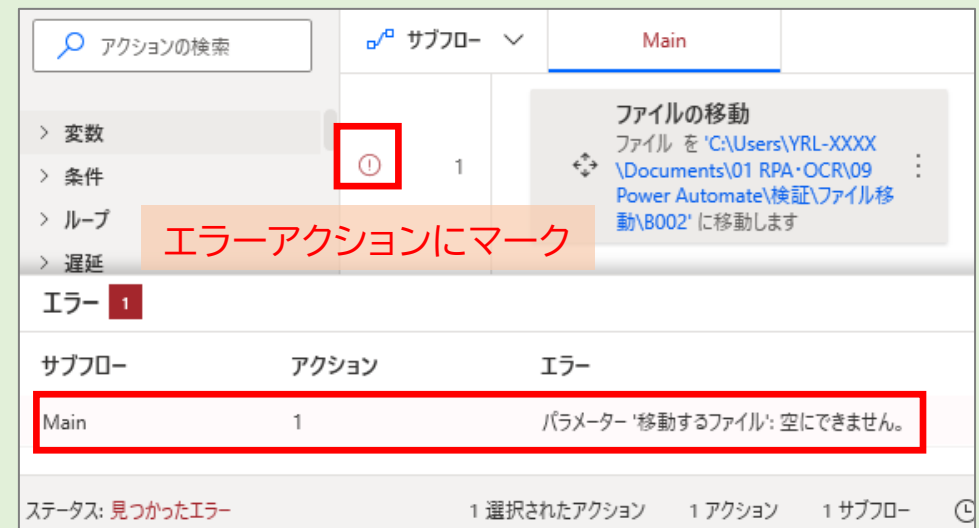
1個のエラーが見つかりました 表示ノード数 / 全ノード数: 1 / 1 表示倍率: 100%



実行時エラーは
ポップアップで表示される

PAD

作成時エラーと実行時エラーあり
※出力情報は同じ



エラーアクションにマーク

サブフロー	アクション	エラー
Main	1	パラメーター '移動するファイル': 空にできません。

ステータス: 見つかったエラー 1 選択されたアクション 1 アクション 1 サブフロー

フロー名、アクション番号、エラー内容が表示される
基本的に日本語

WinActorとのRPA機能比較 – ③実行

比較項目	WA	PAD
部分実行	○	○
ステップ実行	○	○
実行速度	○ PADより速い	× WAより遅い(約4倍)
エラー出力	○ ・視覚的にわかりやすい	△ ・画面下に一覧で表示

WinDirectorとの管理機能の比較

WA環境と、PAD環境の主な管理機能の比較は以下の通りです。

比較項目	WA環境 ※WinDirector(以下WD)による管理統制	PAD環境 ※アテンド型 RPAのユーザーごとのプラン
環境の作成とセキュリティ管理	○ ・WD環境の管理(管理部門) →申請フローによるユーザ管理 →マスタ設定による企業組織、ユーザ、実行ロボの権限管理	○ →ユーザ・ロール・アクセス許可管理 ※Microsoft365の ユーザ情報を同期可 →データ消失防止ポリシーによるコネクタの利用制限(ビジネス、非ビジネス、ブロック済へ分類し管理)
シナリオ(フロー)の共有と権限管理	○ シナリオ登録時の、使用可能組織設定による組織毎の権限付与	○ フロー共有機能によるアクセスユーザ毎の権限付与(共同所有/実行権限)
実行状況、実行ログの参照	○ <u>実行履歴の保持期間</u> ・自動削除無し	× <u>実行履歴の保持期間は28日</u>

WinDirectorとの管理統制面の比較

比較項目	WinDirector環境	PAD環境 ※アテンド型 RPAのユーザーごとのプラン
スケジュール実行	○ <u>ユーザカレンダーによる実行日指定</u>	× <u>ユーザカレンダー機能はなし</u> ※自身で機能作成が必要
スケジュール以外のトリガー実行	× 他製品トリガーの実行は作りこみ要 ※クラウドライブラリ、プチライブラリ等でDx-Suite等展開。製品数は少ない	○ クラウドフローによるトリガー実行 ※Microsoft製品および多数製品とのコネクタ提供あり。
正常終了/異常終了時の通知	○ WDの通知機能有り	× 共通的な通知機能はなし ※クラウドフローによりフロー毎に通知アクション設定が必要

WA

-  日本語に強い
-  業務を可視化できる
-  プログラミング知識が不要
-  ガイドライン等整備済み
-  クラウド機能をトリガーとした連携NG
-  個人が手軽に使えない



PAD

-  海外製品のため日本語に弱い
-  業務を可視化できない
-  プログラミング知識が多少必要
-  ガイドライン作成が必要
-  クラウド機能をトリガーとした連携OK
-  個人環境の利用に効果的



1. 当社の紹介
2. WinActor 全社展開（大企業/中小企業）
3. WinActor/PowerAutomate 機能比較について
4. まとめ

- ✓社内啓蒙活動・イベント・セミナー等の施策を支援大企業の全社展開をサポート
- ✓IT導入補助金を活用し、ライセンス半額/月額で中小企業のWinActor導入をサポート
- ✓WinActor/PowerAutomateの各機能/利便性の観点から見てもWinActorを推奨

**WinActor・RPA管理統制ソリューションに関するお問合せ先
株式会社ニーズウェル ソリューション営業部**

電話:050-5357-8344

メール:rpa_sales@needswell.com

HP:<https://www.needswell.com>

〒102-0094

東京都千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニ ガーデンコート13階